

令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

足立区立第十中学校 校長 田村 和夫

1 学校教育目標

自他の生命を尊ぶ人間尊重の精神を基調とし、変化の激しい社会の中で生徒一人一人が主体的・自主的に学べるような資質や能力を定着させる。また、人間関係が希薄になりつつある社会の中で、助け合い、思いやる共存共生の社会を構築する心豊かな人間を育成する。そのために教職員と生徒の教育目標として、次の3点を掲げる。

- ・学び合う人
- ・思いやる人
- ・鍛え合う人

2 現状の学校図書館の課題

読書週間や調べる学習コンクールなどの取り組みにより、前期の貸出数は増加したが、後期は ICT 機器の活用の慣れが原因か、貸出数が大幅に減少した。ICT 機器の活用により、図書資料の提供依頼が年々減少しているのが現状である。

授業での来館や委員会活動で学校図書館を活用し、生徒が本に触れる機会を増やし、より身近な存在になってもらえるような施設環境を整えたい。

3 今年度の学校図書館の重点目標

- ①学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ②学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ③学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
- ④読書に親しみ、読書習慣と読書力をつける。

4 今年度の重点的な取組

- ①年間3回の読書キャンペーンの実施
- ②月1回の図書コラボ給食の実施
- ③各教科および学年行事での学校図書館の活用

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館の図書や資料を活用して取り組む単元等）
国語	①古典の世界 ①大人になれなかった弟たちに ①調べる学習コンクール ②短歌プレゼンテーション
美術	①Tシャツデザインコンテスト ②ひと目で伝えるための工夫 ③仏像の美に触れる
英語	①世界の水問題 ②AI進化による社会の変化 ③誰もが住みやすい社会を目指す ③絶滅の危機に瀕する動物 ③国際支援の取組 ③世界のエネルギー資源の実態
保健体育	①～③健康な生活と疾病の予防 ①心身の機能の発達と心の健康 ②傷害の防止 ③健康と環境

実践の評価

実践の評価

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

- ①読書時間の確保 ②図書委員会によるイベント企画運営
- ③調べる学習コンクールへの参加

(2) 主な行事等の取り組み

- ①読書週間（年間3回） ②しおり&ポップコンテストの実施

(3) 図書委員会などの取り組み

- ①学校図書館内でのイベント企画 ②保健委員会とのコラボ企画
- ③カラー図書だよりの発行

(4) 環境整備の取り組み

- ①学校図書館内のレイアウトを再考し、授業で活用できるスペースを確保する。

(5) 司書・外部との連携

- ①図書だより発行 ②生徒や教師が必要とする本を迅速に取り寄せる。
- ③授業や学年行事（特に校外学習）で活用できる本や資料を充実させる。

実践の評価

7 学校図書館利活用に関する成果目標

達成基準

達成状況

①

休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書をすることができる。

生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増

②

図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。

1・2学年生徒の調べる学習コンクール参加率75%以上

③

課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができる。

読書や探究活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合100%

8 学校図書館全体に関する自己評価